

すなお

令和7年2月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮英治

発行日 2025.2.16 通巻 No.775



立教188年おちばがえり団参

中和おちばがえり別席団参

5月25日（日）に中和おちばがえり別席団参がつとめられます。初席、中席、満席とそれぞれの形がありますが、この日を一つの目標にして共におちばへ帰らせていただきます。もちろん、ようぼくの方々も共に帰らせていただきます。

天龍講別席おちばがえり団参

10月26日（日）には天龍講（郡山大教会は設立当初『天龍講』として活動をされていた。その名称の元、郡山大教会に関連のある大教会の集まり）の別席おちばがえり団参が計画されています。

それぞれの団参計画の詳細は今後発表させていただきます。おちばはたすけの根源です。兎にも角にもおちばへ帰らせていただきます。この他に4月教祖誕生祭、夏のこどもおちばがえりとさまざまなタイミングで計画されています。今年は今年のおちばがえりを一回でも多くお帰り下さい。

*ちなみに中和大教会は当初『治心講』という名称で活動をしていました。それで現在の大教会の月報は『治心』となっています。

会 長

今年4月からの本部修養科一期講師の研修会が先月27、28日とあり、受講させていただきました。いよいよ2ヶ月後となり授業のシュミレーションなどをさせていただきました。

その二日間に会える講師や同期の方々の顔ぶれを見て（あーやはり教祖のされることだなあ）と今更ながら感心してしまいました。日頃から日々現れてくることには、親神様の深い思惑があると常々皆さんにもお話しさせていただきますし、そうだと私自身も信じていますが、ここまで如実に現れてくるとより深く感ぜずにはおられませんでした。

おちばへは「行こうと思っても行けない場所」と聞かされます。一般的に考えれば「行こうと思えば行けば良い」と思いますが、よくよく考えれば自分の体調、周囲の状況、天候、災害など、あらゆる条件が整わないと実際そこへは行けないのです。自分の努力だけではどうにもならない世界があるということです。このことが分かれると「行こうと思っても行けない場所」という意味が分かります。（次ページへ）

こうしたことから私たちは「自分で生きている」のではなく「生かされている・守られている」ということが分かってきます。そして、このことが心に分かることこそが【信仰している】ということになります。決して形や姿で見せることや表現することが信仰することではありません。もちろん、心があればそのことを形に表すことは自然なことですが、優先すべきは形ではありません。

毎日の生活の中で親神様に守られている事を身に心に感じ、そしてその守護にしっかりともたれて通らせて頂きましょう。



心の大掃除

田中 道則

来年の教祖140年祭まで1年を切りました。仕上げの年とも言われます。一日一日を大切にしておとなした姿を教祖に喜んで頂けるようつとめていきたいです。

世の中では政治の裏金からテレビ局とタレントの問題など様々あります。見ていると今まで強い立場にいた人達が目先の利益だけに走り、誤ちを犯し信用を失い崩れていきます。これは神様がいろんな形で人間の心の大掃除にかかられているように悟らせてもらいます。この姿を見て他人事と思わず、自らの心を省みるよう促されているように思います。

教祖の教えを芯にしっかり据えて世間の人からなるほどと感じてもらえるよう日々励ませてもらいたいです。

《教会ニュース》

春季霊祭

3月1日午前10時より春の霊祭をつとめさせていただきます。今の私たちがあられるのは、親神様の御守護・教祖の導きのおかげですが、その教えを先輩として通り伝えてくれた御霊様のおかげでもあります。どうか時間を合わせておつとめください。時間を繰り上げていますのでご注意ください。

訃報

先月16日にようぶくの浜田美咲子さんが享年100歳で出直しされました。入信のきっかけは「はたらくとははたはたを楽にさせる」という教えだったと聞かせていただいたことがあります。その教えを生涯に亘って実行されていて教会月次歳の日に出直されることも深い神様の思惑を感じます。



編集後記

我が家の受験生も、本日無事合格することができました。これから色々な経験を積んで行って欲しいと思う今日この頃です。（編集者K）